

ちとせ観光通信

～千歳一遇～ せんざいいちぐう

発行 一般社団法人 千歳観光連盟

066-0042 千歳市東雲町3丁目2-6 千歳商工センター3階

電話 0123(24)8818

FAX 0123(24)8819

2026年4月25日発行【再刊第46号】

今号の話題

- 支笏湖に観光シーズン到来
湖水開き安全祈願祭を開催
- 今年も稚魚放流体験
5月10まで、千歳水族館
- 美笛キャンプ場、営業開始
10月末まで、予約はHPから

ヤマザキマリさんオリジナル物語朗読

音楽と光の優美な競演

鳥山さん、千歳ファイルも出演

支笏湖イルミネーション

支笏湖園地を音楽と光、物語で彩る「支笏湖イルミネーション」が4月4日から29日まで、支笏湖ビクターセンター前の園地で開幕しました。幻想的なイルミネーションに彩られた会場では、千歳市ゆかりの文筆家・画家のヤマザキマリさんが支笏湖をテーマにしたオリジナルの物語の朗読が流され、支笏湖の四季を表現したプロジェクトの鳥山雄司さんが手掛けた。音楽はギターリスト、音楽プロデューサーの鳥山雄司さんが手掛けた。

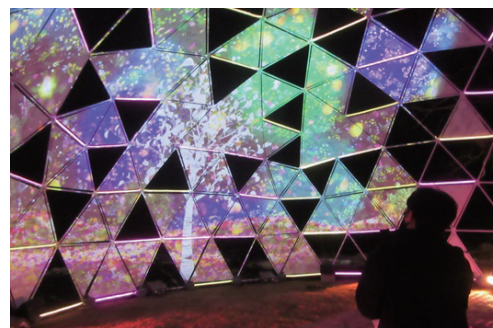
観光連盟が事務局を支援する、国立公園支笏湖運営協議会主催。春を迎えて観光シーズンが本格化



ドームやライトアップされた木々が来場者を幻想的な世界へと誘いました

する前のはざまの時期に、多くの人に足を運んでもらうきっかけを提供し、支笏湖の魅力を感じてもらおうと企画しました。

園地内では木々がライトアップされ、幻想的な雰囲気が演出されました。会場の中心部に設けられ



ドーム内ではプロジェクションマッピングが観衆を魅了しました

たドーム内では、ヤマザキさんのオリジナルの物語の朗読が流されるところにも、プロジェクトのマッピングを投影。

物語は千歳で幼少期を過ごしたヤマザキさんが、支笏湖への思いを込めたオリジナル作品です。支笏湖を擬人化し、不風死、恵庭、樽前の山の兄弟をはじめ、自然の成り立ちや動植物それぞれの関わり、大自然の中での命の循環を表現した物語です。プロジェクトはエゾシカやヒグマ、シラカバ、森のざわめき、四

季の風情を色とりどりに表現しました。放送中はスモークが流れる趣向もあり、幻想的な雰囲気を感じた。立たせました。

開幕初日の4月4日は支笏湖ビクターセンター内で、鳥山さんと千歳フィルハーモニーオーケストラが演奏。優美な音楽が聴衆の心を引きつけました。ヤマザキさんも生で朗読を披露したほか、ゆかりの地と支笏湖への思いを込め、ユーモアも交えたトークで来場者を魅了しました。

期間中は千歳フィル演奏 ヤマザキさん&千歳フィル朗読コンサート、馬頭琴・喉歌（ホーミー）の嵯峨治彦さん、打弦楽器ハンマーダルシマー奏者の小松崎健さんの演奏会がプログラムに盛り込まれました。

支笏湖イルミナヒストリアは4月29日まで開催。時間は午後6時から午後9時までとなっています。

行楽シーズン到来 無事故、千客万来祈願

支笏湖湖水開き

支笏湖観光の今シーズンの開幕を告げる支笏湖湖水開き・安全祈願祭が4月12日、支笏湖温泉園地内の支笏湖神社で執り行われました。支笏湖ビクターセンター近くの神社に祭壇が設けられ、地元関係者ら約30人が出席。シーズン中の無事故無災害、行楽客の千客万来を祈願しました。



関係者が列席した安全祈願祭



神事で無事故・無災害を祈願

国立公園支笏湖運営協議会（事務局支援・観光連盟）の主催。神職が祝詞を奏上して無事故・無災害を祈願。関係者が祭壇に玉ぐしをささげて、観光シーズンの平穏と地域振興を神前で願いました。支笏湖神社に設けられた祭壇には供物が並び、「支笏湖の観光シーズンの扉を開ける鍵」という意味があり、湖水開きを象徴する鍵のミニチュメントも置かれました。

4月下旬は温かくなり、支笏湖

周辺のグルメやスワンボートなどのアクティビティを楽しむにはよい季節です。

事故防止のため、地域では独自に「支笏湖ルール」を定めています。▼非動力船利用時のライフジャケット着用▼遊覧船の航路に入らない▼人が集まる場所でのフライフイッシングは控える▼ペットのリードは常に付けておく、といった決まりをお守りいただき、支笏湖でのレジャーを満喫してください。

6月1日

ヒメマス釣り解禁 遊漁は規則遵守を

支笏湖では6月1日から8月31日までの3カ月間、ヒメマス釣りが解禁されます。動力船の乗り入れには事前の許可が必要です。また釣りには支笏湖漁協が取り扱う遊漁券の携行が求められます。注意の上釣りをお楽しみください。

サケ稚魚放流体験 今年も開催

「いってらっしゃい」

旅路見送る

サケのふるさと千歳水族館

サケのふるさと千歳水族館で、毎年春恒例のサケ稚魚放流体験が行われています。休日には親子連れや観光客が水族館近くの小川に稚魚を放し、海への旅立ちを見送っています。

サケの生態や成長、千歳川とサケの関わりについて関心を持ってもらう狙いで毎年開催しています。学習室でサケの生態について学んだ参加者は、スタッフから体長5センチほどに成長したコップを受け取り、小川に設けられた「滑り台」のように切った筒でコップの水とともに流すようにして、稚魚を放流しました。小さな子供が稚魚に手を振り、「いってらっしゃい」と見送る姿も見られました。



水族館近くの小川で稚魚を放流する参加者

ファン待望 シーズン到来 ちとせ美笛キャンプ場 今季の営業開始 HP から予約可能 マナー守って利用を

観光連盟が指定管理者として運営する千歳市美笛の「ちとせ美笛キャンプ場」の今季営業が4月24日から開始されました。すでにキャンプ場ホームページから、予約を受け付けています。営業期間は10月18日までの予定です。

支笏湖を一望でき、樹齢数百年の木々の生い茂る「巨木の森」に近いキャンプ場は、北海道の雄大な大自然を満喫できるスポットとして道内外のファンが多く、シー

ズン中は美しい景観と静かな雰囲気を楽しむため、多くのアウトドアを愛する人が訪れます。

駐車場200台分、テントサイト150カ所を用意しています。家族や友人とのキャンプや、バーベキューなど日帰りの利用も可能です。

利用に際しては注意事項があります。直火は禁止です。焚き火台・脚付きコンロ等の器具を使用し、炭が地面に落ちないように配慮をお願いします。大声で騒ぐ、ペットの放し飼いといったほかの利用者の迷惑になるような行為はお控えください。

チェックイン時間は午前11時から午後7時、チェックアウト時間は午前7時から同10時まで。料金は宿泊が市内大人1000円、子ども500円。日帰りは市内大人500円、子ども200円で。同キャンプ場サイトから予約できます。

道、注意特別月間

春のレジャー

ヒグマに注意

北海道内では春を迎え、ヒグマが冬眠から目覚める時期。同派4月1日から5月31日までを「春のヒグマ注意特別月間」と定めています。千歳市内では目撃情報があります。警察等に寄せられており、山菜採りや行楽シーズンを前に、十分に注意してください。

登山や山菜採りの際は、▼事前

にヒグマの出没情報を確認する▼

薄暗いときは行動しない▼野山では1人で行動しない▼野山では鈴やラジオなどで音を出しながら歩く▼

▼フンや足跡を見たら引き返す▼

▼食べ物やごみは必ず持ち帰る、といった注意が必要です。

十分注意した上で、大自然のレジャーを安全に楽しんでください。

イベント情報

▼菜の花さんぽ2026（5月16日～6月1日、安平町追分柏が丘など）同町の初夏の風物詩を楽しむ催しです。トラクターで引く幌馬車に乗って楽しむ「菜の花畑ドライブ」をはじめ、「菜の花散歩道」、「菜の花フットパス」など。道の駅あびらD51ステーションでは、菜の花にちなんだメニューを提供する『菜の花かふえ』もオープンします。

▼ノーザンホースパークマラソン2026（5月17日、苫小牧市美沢・ノーザンホースパーク）ハーフマラソン、ハーフマラソン＋トレイルラン、トレイルラン、ペーランの4種目を開催。競走馬育成施設内を走ることができる唯一のマラソン大会で、直営レストランでつくる北の味覚も味わえるイベントです。

▼グリーンベルト春まつり（6月6日、7日、グリーンベルト千代田町つどいの広場、幸町おまつり広場）千歳市環境整備事業協同組合主催、観光連盟など後援。高所作業車乗車体験（中学生以上500円、小学生以下は保護者同伴）、ミニ重機乗車体験、30台以上が集まるキッチンカー、ステージパフォーマンスなどを予定しています。

▼FLY HIGH fes. 2026年（6月20日、日本航空大学校北海道新千歳空港キャンパス）同実行委主催。千歳市空港開港100年の節目を記念し、音楽・食・アウトドア・体験をコンセプトにした市民参加型フェスです。4EVE、松浦航大さん、佐藤三兄弟、きいやま商店、タイトル未定、NMB48、山崎あおいさんの出演を予定しています。詳細は公式サイトをご確認ください。

編集後記

まちを歩くと真新しいスーツ姿の新社員や、大きなランドセルを背負った新1年生の姿を見かけます。生活のステージが新しい段階へと入る節目の時季です。

編集子も新社員の指導に関わった経験があります。未経験の人にどう仕事の仕方を教えるか。考えてたどり着いたのは、新人時代の自分の心境を思い出すことでした。

入社したての頃に教えてほしかったこと、戸惑ったこと、失敗談を思い返しながら、あれこれアドバイス。その方針が良かったかは分かりませんが、自分にとっても初心を思い返すきっかけになりました。初々しさを目にするたびに、自身を振り返る4月です。（ひ）